

## 会 議 議 事 録

|        |   |
|--------|---|
| 1 会議名  | 令和7年度第4回長岡市公立大学法人評価委員会  |
| 2 開催日時 | 令和8年2月16日（月）午後3時00分から4時45分まで  |
| 3 開催場所 | アオーレ長岡東棟3階 301会議室   |
| 4 出席者名 | <p>（委員）三上委員長<br/>         水澤委員<br/>         草間委員<br/>         槇委員</p> <p>（説明のために出席した関係者）</p> <p>公立大学法人長岡造形大学 佐々木理事長<br/>         公立大学法人長岡造形大学 平山学長<br/>         公立大学法人長岡造形大学 安達副理事長<br/>         公立大学法人長岡造形大学 高橋事務局長<br/>         公立大学法人長岡造形大学 野上事務局次長<br/>         公立大学法人長岡造形大学 佐藤財務課長<br/>         公立大学法人長岡造形大学 三重堀財務課係長</p> <p>（事務局）長岡市地方創生推進部 五十嵐部長<br/>         長岡市政策企画課 中村課長<br/>         長岡市政策企画課 上村課長補佐<br/>         長岡市政策企画課 相川係長<br/>         長岡市政策企画課 浅野主査</p> |
| 5 欠席者名 | 並木委員  |
| 6 議事   | <p>（1）委員長の選出及び委員長代理の指名について</p> <p>（2）第3期中期計画（案）について</p> <p>（3）中期目標期間の業務実績評価（期間評価）実施要領の改正について</p> <p>（4）年度計画及び年度評価廃止後の評価委員会の開催について</p> <p>（5）役員報酬規程の改正について</p>   |

|               |  |
|---------------|--|
| 7 審議結果の概要     | <p>議事（１）について、委員の互選により三上委員が委員長に就任し、水澤委員が委員長代理に就任した。</p> <p>議事（２）、（３）及び（４）について、案のとおり承認された。</p> <p>議事（５）について、委員から意見はなかった。</p>   |
| 8 審議の内容       |  |
| 事務局・政策企画課課長補佐 | <p>本日は、お忙しいところお集まりいただき、誠にありがとうございます。</p> <p>これより、令和7年度第4回長岡市公立大学法人評価委員会を開催いたします。はじめに五十嵐地方創生推進部長より御挨拶申し上げます。</p>  |
| 事務局・地方創生推進部長  | <p>（部長挨拶）</p>  |
| 事務局・政策企画課課長補佐 | <p>評価委員につきましては、昨年12月に委嘱期限を迎え、全ての委員の皆様から再任を御快諾いただきました。誠にありがとうございます。</p> <p>本日の評価委員会は、委員5名のうち3名が出席されておりまして、1名遅れて御出席いただく予定となっております。長岡市公立大学法人評価委員会条例第5条第3項の規定を満たしていることを御報告いたします。なお、このたびの評価委員会は、長岡造形大学の佐々木理事長、平山学長、安達副理事長、高橋事務局長、野上事務局次長、事務局職員2名に出席いただいております。</p> |
| 事務局・政策企画課課長補佐 | <p>それでは、議事に入ります。</p> <p>はじめに、「委員長の選出及び委員長代理の指名について」です。</p> <p>参考資料1の「長岡市公立大学法人評価委員会条例」をご参照ください。同条例第4条第1項の規定により、委員長は委員の互選によって定めることとなっております。</p> <p>委員の皆様から、立候補、または推薦等ございますでしょうか。</p>  |
| 委員            | <p>引き続き、ぜひ三上委員にお願いしたいと思います。</p>  |
| 事務局・政策企画課課長補佐 | <p>皆様、いかがでしょうか。</p>  |

|               |  |
|---------------|--|
|               | <p>(異議なし)</p> <p>委員長に三上委員が選出されました。<br/>三上委員、委員長席にお移りいただきたいと思います。<br/>それでは、三上委員長から御挨拶をお願いいたします。</p>   |
| 委員長           | <p>(委員長挨拶)</p>   |
| 事務局・政策企画課課長補佐 | <p>ありがとうございました。<br/>評価委員会条例第4条第3項の規定により、委員長が委員長代理を指名することになっております。三上委員長、いかがでしょうか。</p>   |
| 委員長           | <p>引き続き、ぜひ水澤委員にお願いしたいと思います。</p>  |
| 事務局・政策企画課課長補佐 | <p>委員長代理に、水澤委員が指名されました。<br/>それでは、水澤委員長代理から御挨拶をお願いいたします。</p>  |
| 委員            | <p>(委員長代理挨拶)</p>   |
| 事務局・政策企画課課長補佐 | <p>ありがとうございました。<br/>それでは、ここからは、進行を委員長にお願いしたいと思います。<br/>三上委員長、お願いいたします。</p>   |
| 委員長           | <p>それでは、進行を務めさせていただきます。<br/>議事を進める前に、今回の評価委員会の議事録署名人を決めたいと思います。水澤委員と楨委員のお二人にお願いしたいと考えておりますが、よろしいでしょうか。</p>   |
| 委員長           | <p>(水澤委員、楨委員 了解の発言)</p> <p>それでは議事を進めてまいります。残りの議事は4件です。<br/>1件目は、第3期中期計画(案)についてです。事務局及び大学から説明してもらい、それについて各委員から御意見を伺います。<br/>2件目は、中期目標期間の業務実績評価(期間評価)実施要領の改正についてです。事務局から説明してもらい、それについて各委員から御意見を伺います。</p> |

|                         |   |
|-------------------------|---|
| <p>事務局・政策企画<br/>課長</p>  | <p>3件目は年度計画及び年度評価廃止後の評価委員会の開催についてです。事務局から説明してもらい、それについて各委員から御意見を伺います。</p> <p>4件目は役員等報酬規程の改正についてです。事務局から説明してもらい、それについて各委員から御意見を伺います。</p> <p>それでは、1件目の第3期中期計画（案）についてです。はじめに事務局から説明をお願いします。</p> <p>（資料2-1を基に説明）</p>  |
| <p>委員長</p>              | <p>ありがとうございました。続いて、大学から説明をお願いします。</p>   |
| <p>長岡造形大学・理<br/>事長</p>  | <p>（第3期中期計画作成の背景、方針について説明）</p>  |
| <p>長岡造形大学・<br/>事務局長</p> | <p>（資料2-2、2-3を基に説明）</p>   |
| <p>委員長</p>              | <p>ありがとうございました。</p> <p>第3期中期計画（案）について説明していただきました。委員の皆様から御質問、御意見などありましたらお願いします。</p>  |
| <p>委員</p>               | <p>教育内容や学習成果についての学生アンケートやGPAでの評価ですとか、具体的な数値目標を設定されています。計画を実行していくうえで非常に厳しい、チャレンジングな設定をされていまして、大学の覚悟みたいなものを感じることができました。</p> <p>そのうえでの意見としまして、指標番号45、46、47、50について、例えば、コンプライアンスや人権侵害の防止をテーマとした研修の実施という評価指標がありますが、それでは弱いのではないかと思います。これらは企業でも世間的にも非常に重要なテーマになっています。コンプライアンス委員会や内部統制委員会などを設置して、問題があった場合には招集して対処していく、あるいは定期的開催をして問題がないかチェックしていく、というシステムティックな対応体制にしていかないと、研修をするだけでは効果がないのではないかと感じました。また同じように、大規模災害、情報セキュリティについ</p> |

|                   |  |
|-------------------|--|
|                   | <p>でも、リスクマネジメント、BCP、様々な問題に直面することがあると思うので、事前に想定される問題に難易度をつけて羅列しておき、それに対する対応をどうするかということを検討していく、リスクマネジメント委員会のようなものを設置されて、常時検討していくような体制の方がより確かなのではないかと思います。</p> <p>また、社外の弁護士に直接、社員から連絡できる社外通報制度が整備されていないと、組織上ではなかなか言えない、通報できないということがあるかと思っています。内部でくすぶって問題を大きくしてしまう可能性もありますので、整備されることで早期に報告がなされ、健全なものに繋がるということがあるかと思っています。</p> <p>長岡造形大学がこれまで前向きに、しっかりやってこられていることを存じ上げているうえで、さらに長岡造形大学らしく発展していくためにということで申し上げました。全体的には第3期中期目標に沿って実行していくための計画ということで、チャレンジングな内容で素晴らしい計画だと思います。</p> |
| <p>長岡造形大学・理事長</p> | <p>御指摘のとおり、研修実施では弱いのではないかという点については学内でも議論をいたしました。本当はコンプライアンス違反案件0件、事故0件というような数値目標としたいところですが、6年間の中期計画においてはコミットがなかなか難しいものがございまして、では1件や2件という設定にするかということとその根拠もございませぬので、その辺の議論は十二分にしたうえで、あえて、6年間の中期計画ということでこのようにしております。実際には、コンプライアンスに関する委員会については、常設ではございませんが、何か事案があれば立ち上げる仕組みになっておりますし、リスクマネジメントに関する委員会に関してはさらに検討の余地があるかと思っておりますし、BCPに関しても改善の余地があるかと思っております。また、いわゆるホットラインに関しても公益通報制度の強化を検討しておりますので、いただいた御意見については毎年度の事業実施の際に取り入れさせていただきますかと思っております。</p>                           |
| <p>委員</p>         | <p>私もリスク管理についてです。現場では何が起きるかわからないところがあって、それをどの組織でも大変なコストや時間をかけて準備する必要がある時代になっていると感じております。おそらく、コンプライアンス委員会の立ち上げ規定などは整備されていて、大学で起こり得るものを想定したリスク管理体制はマニュアルとしてあるかと思っております。ただ、実際に問題が起きたときに狼狽してしまうことがあ</p>  |

|                       |  |
|-----------------------|--|
|                       | <p>るかもしれません。研修ももちろんその一環として含まれるでしょうけれど、例えばコンプライアンス委員会の担当が年に1回程度顔を合わせて対応を確認するとか、日常的に、何らかのアクションがないと、忘れてしまったり、実際に判断するときに時間を要したりしてしまいます。実際にリスクに直面してしまうと、半日や1日くらいで様々な判断をしなければならぬ局面に立たされることがあります。どの組織でもあり得ることなので、何か具体的なアクションを織り込んでおかれたらよいのではないかと思います。</p> <p>また、指標番号8についてです。毎年のようにテクノロジーが発展しますので、教員や事務局も大変なのではないかと思いますけれども、生成AI等を授業や演習などで積極的に導入をしていかなければならないと思います。現状では、授業、ゼミ、演習などで生成AIは具体的にどのように使われているのでしょうか。</p> |
| <p>長岡造形大学・学<br/>長</p> | <p>生成AIについては、使い方によっては問題がある一方で、やはりこれから使っていかなければならない局面に立っているということで、授業の課題制作では使ってよいという前提で授業を進めています。ただし、どのように使ったのかを明確にする。例えば、この課題のときは情報収集だけ、文章の初めの部分だけは使ってもよいなど、どこで使うのかを明確にしております。また、この課題では絶対使わないようにするということもあります。卒業研究でも生成AIを使う学生がいましたので、「こういうふうに使ってこの作品を作りました」と説明できるように指導しておりました。これからさらに使っていくことになると思いますので、どのように使ったのかを明示したうえで、作品としてまとめるということで進めております。不可避だと思っております。</p>   |
| <p>委員</p>             | <p>生成AIは、仕事なり学ぶうえで、補助や助けになると思うのですが、一方でそのデータの公正さが大きく問われています。例えば、インターネット上の画像情報の著作権が明確でないままに、技術だけが進んでいるというところもあります。リテラシーと言いますか、社会的公正さ、あるいは倫理的な問題とか、生成AIの用い方の指導自体が教育なのだと思います。これは世界レベルで難しい問題ですし、今後、一つのルール化というような明確なものに収斂していくのだらうと思いますが、その過程の段階で学生たちは生成AIを用いていますので、そうした教育が必要だと思います。特に、長岡造形大学はデザインで価値を生み出すという点で、こうしたことに直面する度合いも</p>   |

|                   |   |
|-------------------|---|
| <p>長岡造形大学・理事長</p> | <p>強いと思います。当然、このようなことを念頭に置かれているとは思いますが、常に新しい技術を取り入れて先端を行き、仕事をするうえでツールとして使える技術やノウハウを身に付けられるような教育をしていただきたいと思います。</p> <p>次に指標番号 20 の長岡地域定住自立圏域内の就職者数についてです。これまでも評価委員会で話題に上がることがありましたし、関心事でありました。職業選択、移動の自由が憲法上保障された中でなかなか難しいところもありますが、長岡市も大学と両輪でまちの魅力や就職先の充実など努力いただきたいと思います。このような数値目標を設定されたことは評価できると考えております。</p> <p>また、これに関連して指標番号 32 から 35 の入学者の確保についてですが、これも大事なことだと思います。先ほどは大学の出口の話で、こちらは入り口の話になりますが、全国から学生が集まってきていることをかねてから本当に素晴らしいと思っています。志願倍率の維持はもちろん、全国から学生が集まってきている状況を維持していくことに非常に価値があると思っています。そうしたポテンシャルのある長岡造形大学に全国から学生が集まってきて、地元出身の方だけでなく一定程度が長岡に就職してほしいということもありますし、地方から来た学生が長岡を第二の故郷と思って地方に戻って就職されるということもよいことではないかと思っています。地方から地方へ、地方と地方が繋がる、また地方に長岡を第二の故郷とってくれる人が増えていくということは、長い目でみると非常に価値のあることなのではないかと思っています。長岡市も首都圏への流出が止まらない状況ですので、そうしたことも就職指導の中で意識していただければと思います。</p> <p>1 点目のテクノロジーに関しては全くおっしゃるとおりだと思います。授業での活用が指標番号 8 で、その環境整備が指標番号 17 にございます。6 年間の計画ですので、個別のテクノロジーや数値目標を置くことが非常に難しいですが、私どもはこれを使っていくことが使命と言いますか、学校の性格上当然だと思っています。また、委員のおっしゃったように、生成 AI に関しては倫理、どう使うか、どう使ってはいけないかというところも社会に出る前の学生に授業として教えていかなければいけないことだと考えております。毎年度の事業実施の際に、参考にさせていただきたいと思います。</p> <p>2 点目の長岡地域定住自立圏域内の就職者数の数値目標「20 人以上」については、学内で十二分に議論をしたうえで設定いたしました。</p> |
|-------------------|---|

|                       |  |
|-----------------------|--|
| <p>長岡造形大学・学<br/>長</p> | <p>長岡市、長岡商工会議所と協力しながら、また、OBの方々たちとネットワークを作りながら何とか達成したいと思っております。実際には、首都圏に就職する学生も多いですが、長岡で地元就職する学生、地方から来て長岡が第二の故郷だということで長岡に就職する学生も結構います。そのような状況も踏まえて、いろいろな施策を打っていきたいと思っております。</p> <p>指標番号 20 の長岡地域定住自立圏域内の就職者数の数値目標「20人以上」については、現状値 13 人程度ということで学内でも議論になりましたが最終的にこの数値目標になりました。長岡商工会議所や長岡市からもご協力いただけるとのことですので、20 人を中期計画最終年度の数値目標として目指していきたいと考えております。また、入り口の話ですが、もちろん全都道府県から学生が集まるとよいとは思っていますが、現状でも、ほとんどの都道府県から学生が集まっており、学校のあり方として多様性を獲得できていると思っています。南は沖縄、北は北海道の学生が交わって学ぶことで、単一的な視点ではなくて、いろいろな方の考え方を学生自身が共有できるということに非常に価値があると考えています。そういう面で、指標番号 34 の高等学校・予備校訪問件数の数値目標の「県外 120 件以上」について、しっかりやらなくてはいけないと思っておりますし、こうした実績を積みながら、より多くの学生から来ていただきたいと思っております。</p> <p>また、指標番号 32 の志願倍率（学部）についてです。基本的に各試験、各学科ごとで 3 倍は確保していきたいと思っております。3 倍に満たないものについては、今後どうしたらよいかを考えながらやっていきたいと思っております。</p> |
| <p>委員長</p>            | <p>生成 AI をどのように教育で使っていくかということ、AI 時代の情報化教育とは何かということを経験から考えなくてはならない時代だと感じているところです。昨年にいがたデジコングランプリという小学生から大学生までを含めてデジタルコンテンツの技を競い合うという大会がありました。昨年で 25 回目でしたが、昨年初めて生成 AI の使用を解禁したところ、一番反応がよかったのは高校生でした。高校生の応募が大変増えまして、水準はまだまだなところもありますがすごいと思いました。また、小中学生については、民間のプログラミング塾で生成 AI を使わせている先生によると、生成 AI の使い方がうまい子どもは読書量が多い子どもだと話されていました。やはり表現力やボキャブラリーが豊かでないと生成 AI と付き合えな</p>  |

|           |   |
|-----------|---|
|           | <p>いということのようです。私自身も特に壁打ちの相手として活用していきまして、新しい視点を出すと生成AIもそれに反応してまた一段深いところを答えてくれるので、そこまで進歩したなと思っているところではあります。また、今はライブコーディングと言って、口で話しながらコードを作っていくこともあるそうですが、できたコードを修正するには知識がないとできませんので、やはり知識も必要になります。そうすると、一体どのような教育をすればよいのかということで、本当に今は迷いのど真ん中だと思います。教育における生成AI活用のそれ自身がイノベーションだというように感じています。</p> <p>この中期計画については、50項目の評価指標についてここまで定量的に、丁寧に数値化されている点が素晴らしいと思いました。また、それぞれ設定している評価目標も決して容易でないものが多いと感じています。例えば、指標番号13、14の外部資金について、応募件数の5割を獲得するという目標です。容易でない数値目標だと思います。先ほど御意見のありました、指標番号20の長岡地域定住自立圏域内の就職者数の数値目標「20人以上」もそうですが、本当に意欲的な数値目標を設定されたと感じております。</p> <p>また、他大学においても非常に参考になると思ったものが指標番号31の学んだ専門性を活かして就職したと考える学生の割合の数値目標です。このような項目は何を成果として測るかということが難しいと思います。この数値目標は、学生アンケートという主観的評価ではありますけれども、今後、教育の出口における質というものを考えるときの一つの見方、測定方法だと思います。</p> <p>全体を通して非常にチャレンジングで、しかも定量的な数値目標を設定されたということで素晴らしいと感じました。</p> |
| 委員        | <p>長岡造形大学では、生成AIをどのように導入されて、どういうところで社会反映されていくのかという点が興味深いなと思っております。また、指標番号3の授業評価アンケートにおける授業の達成目標の到達度の数値目標「5段階評価で3（概ね達成できた）以上と回答する学生の割合 80%以上(学部・大学院ごとに毎年度)」について、3未満はどのくらいあるのか、そして、どのような傾向あるのか、もしそういうものがあれば改善していくことだと思うのですが、お聞かせいただければと思います。</p>  |
| 長岡造形大学・学長 | <p>授業評価アンケートは4つ項目がありまして継続的に実施しています。来年度から少し項目を変えようと考えておりますが、学生がし</p>   |

|             |   |
|-------------|---|
|             | <p>っかりと授業を受けて、学習成果を獲得できたかということを確認するために実施しています。点数は平均すると約4.3になります。非常勤講師が担当する授業も含めた前期後期全ての授業を対象に、その数値が4以下のものを拾い上げて会議で確認しております。アンケートには自由記載欄もありますので、特に低い点数の授業は、自由記載欄を全部確認したうえでどういう点が問題であるのかということを検討します。教員の方に問題がある場合は自由記載欄を読んでいただいて、それに対するコメントを返していただくという形にしていますので、教員からのコメントが不十分な場合は再度確認をとりまして向上を図っております。なお、3は低い数値でして、3であれば御説明したようなことを実施していますので、今後もそのようにやっていきたいと考えております。</p> <p>先ほど、にいがたデジコングランプリのお話がありましたが、小中学生の作品を見せていただいて大変感動しました。また、お話を聞いていて、プログラミング塾は昔のそろばん塾に似ていると思いました。プログラミング塾で学んでいる小中学生が全員その道のプロになるのではなく、その力をもって様々な進路へ進むのだと思います。そういう面で、日本の将来の足腰がここで鍛えられているのかと思ひまして、今後もこの技術を使って表現を続けていただきたいと思ひました。</p> |
| 委員長         | <p>それでは、評価委員会として、資料2—2のとおり第3期中期計画を認可するのが適当である旨の意見書を、長岡市長に提出したいと考えますが、委員の皆様よろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p>  |
| 委員長         | <p>ありがとうございました。</p> <p>事務局は、意見書を市長に提出してください。</p> <p>続いて、2件目の中期目標期間の業務実績評価（期間評価）実施要領の改正についてです。事務局から説明をお願いします。</p>  |
| 事務局・政策企画課課長 | <p>(資料3—1、3—2を基に説明)</p>   |
| 委員長         | <p>ありがとうございました。</p>   |

|             |  |
|-------------|--|
|             | <p>業務実績評価（期間評価）実施要領の改正について説明をしていただきました。</p> <p>委員の皆様から御質問、御意見などありましたらお願いします。</p> <p>（意見なし）</p> <p>それでは、資料3-2のとおり実施要領を改正したいと考えますが、委員の皆様よろしいでしょうか。</p> <p>（異議なし）</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>続いて、3件目の年度計画及び年度評価廃止後の評価委員会の開催についてです。事務局から説明をお願いします。</p> |
| 事務局・政策企画課課長 | （資料4を基に説明）   |
| 委員長         | <p>ありがとうございました。</p> <p>年度評価廃止後の評価委員会の開催について説明していただきました。委員の皆様から御質問、御意見などありましたらお願いします。</p>   |
| 委員          | <p>令和8年度は、令和7年度の年度評価と第2期の期間評価を実施する、そして、法定評価がない年度については、評価はしないけれども、計画の進捗状況を大学から共有いただくということによろしいでしょうか</p>   |
| 事務局・政策企画課課長 | さようでございます。   |
| 委員長         | <p>それでは、見込評価・期間評価又は中期目標策定に該当しない年度においても、中期計画の進捗確認のため、年1回程度、定例として当評価委員会を開催、そのほかは必要に応じて開催することとしてよろしいでしょうか。</p> <p>（異議なし）</p>  |

|               |   |
|---------------|---|
| 事務局・政策企画課課長   | <p>ありがとうございました。</p> <p>続いて、4件目の役員報酬規程の改正についてです。事務局から説明をお願いします。</p> <p>(資料5を基に説明)</p>                              |
| 委員長           | <p>ありがとうございました。</p> <p>役員報酬規程の改正について説明していただきました。委員の皆様から御意見がありましたらお願いします。</p> <p>(意見なし)</p>                        |
| 事務局・政策企画課課長補佐 | <p>ありがとうございました。</p> <p>本日予定していた議事は以上となります。</p> <p>それでは、私の進行はここまでとさせていただきます。御協力いただき、ありがとうございました。進行を事務局にお返しします。</p> |
| 事務局・政策企画課課長   | <p>三上委員長ありがとうございました。</p> <p>次第の3その他といたしまして、事務局からご連絡いたします。</p> <p>(今後の流れ、次回会議日程等について説明)</p>                        |
| 事務局・政策企画課課長補佐 | <p>それでは、以上をもちまして「令和7年度第4回長岡市公立大学法人評価委員会」を終了いたします。ありがとうございました。</p>   |

上記議事録は、その記載内容が事実と相違ないことを確認し、ここに署名する。

委 員

委 員

9 会議資料

- 次第・出席者名簿
- 資料 1 長岡市公立大学法人評価委員会 委員名簿
- 資料 2-1 公立大学法人長岡造形大学第 3 期中期計画の認可について
- 資料 2-2 公立大学法人長岡造形大学第 3 期中期計画（案）
- 資料 2-3 公立大学法人長岡造形大学第 3 期中期計画（案）の特徴
- 資料 3-1 中期目標期間の業務実績評価（期間評価）実施要領の改正について
- 資料 3-2 公立大学法人長岡造形大学 中期目標期間の業務実績  
評価（期間評価）実施要領案
- 資料 4 年度計画及び年度評価廃止後の評価委員会の開催について
- 資料 5 公立大学法人長岡造形大学の役員報酬及び職員給与  
の支給基準に関する届出書（変更）
- 参考 1 長岡市公立大学法人評価委員会条例
- 参考 2 公立大学法人長岡造形大学第 3 期中期目標